

1 ファカルティ・ディベロップメントの概要

1. 実施報告

本委員会における主な活動は「授業評価」「授業公開」「FD研修会」の3点である。2021年度においても2020年度からの国内新型コロナウイルス感染防止対策のため、本学のFD活動においてもその対応を迫られることとなった。

今年度新たに本委員会運営に加わった事項が2点ある。一つは、大学院FDとの連携として、大学院におけるFDご担当者に本委員会に参加いただくこととなった。二つ目に、総務課が主催する大学問題研究会の実施議事を本委員会でも記載把握することとなった。いずれも教学マネジメント具現化に向けた取り組みと位置付けられる。

また、昨年度からの検討事項であった、学生ピア・サポーター（学生FD）（仮称）の組織化について検討を続けた。当該規定の作成を検討したが、本件は来年度以降も継続して検討していく必要がある。

授業評価の中心的な取り組みである「学生による授業評価アンケート」は、昨年度に続き総合教育システムを使用してWeb上で実施した。総合教育システムは今年度より導入されたUNIVERSALPASSPORTの授業評価アンケート機能を使用して実施した。アンケート結果に基づく教員の学生へのフィードバックコメントの提出は、例年通りアンケートフォームを使用した。

授業公開に関しては、例年よりも遅いスケジュールであったが、おおむね昨年度と同じ内容で実施した。原則すべての授業を対象とした（ネイティブの教員との英会話を主とする「コミュニケーション演習」においては、業者委託による授業であるという事情から対象外とした）。後期はハイフレックス型もしくは分散型の授業方法となったため、直接教室で参観するかZoom等ビデオ会議アプリケーションから参観するかを授業担当者が判断し、授業見学の希望者に伝えることをルールとした。この授業公開の実施は、授業評価アンケートの結果を授業改善に活用する重要な機会であると考えている。

全学で実施している「FD・SD研修会（大学問題研究会）」においては、今年度は学内の教員の助力を得ながら、ランチFD研修会と称し、2022年1月から3月にかけて計3回にわたる学習会形式で実施した。テーマは「はじめてのルーブリック講座」とした。内容は近年シラバス作成上で求められている科目ルーブリックの考え方と作成方法についてであった。

例年実施している授業に関する学生・教員交流会は、2月24日（木）午後Zoomにより実施した。トークテーマを①Zoom授業について、②授業・学生生活の困りごと、③ピア・サポーター制度についてと3つ設定し、グループごとにディスカッションを行った。